

# CROSSROADS

## 第8話 チームの反乱と結束

The Walkout / リーダーとして人を動かす

DAY 70 / 90

「I'm done.」 エレナは席を立った。健司には、彼女を止める権限が何ひとつ無かった。

素材：上級（C1）

解説：中級から

感情が動く回なので、文が短くなり、間が長くなります。

I'm done. / Say the second part again. / Keep going. のように、3語以下の返しが要所に置かれます。ここを聞き逃すと流れが分かりません。

この回の学びは発音ではなく強勢です。同じ文でも、どこを強く言うかで意味が変わります。

- 権限で人を動かせない場面で、言葉の中身だけで動かせるようにする。
- not A but B の対比を、強勢を付けて言えるようにする。
- 「やらないことを決める」のがリーダーの仕事だと理解する。

CROSSROADS — 90 Days at NY HQ（架空） / 動画本編：第8話 チームの反乱と結束（全10話）

|    |                    |    |
|----|--------------------|----|
| 1  | この回の設定             | 3  |
| 2  | 登場人物               | 3  |
| 3  | 今回のミッション           | 3  |
| 4  | シーンの流れ             | 4  |
| 5  | スクリプト（英日対訳・チップ付き）  | 5  |
| 6  | 健司の英語は、どこが機能しなかったか | 11 |
| 7  | キーフレーズ ✕→○         | 12 |
| 8  | 遠回し表現の読み解き         | 16 |
| 9  | 音の変化               | 16 |
| 10 | 文法・語法の解説ポイント       | 18 |
| 11 | 多義語のワナ             | 19 |
| 12 | 演習                 | 20 |
| 13 | 解答                 | 22 |

#### 進め方

- ① スクリプトを英文だけで音読する。辞書は引かない。
- ② 和訳で答え合わせ。
- ③ 発言7～11（決裂）と発言30～46（やり直し）を読み比べる。健司の立ち位置がどこで変わったかを一行で言えるようにする。
- ④ 遠回し表現の章は「本当の意味」を隠して当てる。
- ⑤ 演習を解く。強勢を付ける語には印を付けてから音読する。
- ⑥ 次に誰かの信頼を失ったとき、1番だけ使う。

## 1 この回の設定

着任70日目。日本本社から3度目の仕様変更が降りてくる。エレナが2週間かけて作り直した画面が、また白紙になる。彼女は I'm done. と言って席を立ち、チームは空中分解しかける。健司には彼女を止める権限が無い。ここで初めて、彼は本社の代弁者ではなく、このチームのリーダーとして話すことになる。

権限で人が動くのは、余裕があるときだけです。

余裕が無くなったとき、人を動かすのは言葉の中身だけになります。第8話では、その型を6つ身につけます。

音声はすべて英語。日本語訳は画面の字幕だけです。

## 2 登場人物

| Name            | カナ              | 歳  | 役割                   | キャラ            | 背景                                      |
|-----------------|-----------------|----|----------------------|----------------|-----------------------------------------|
| Kenji Sato      | 佐藤 健司           | 32 | 新規事業開発部<br>PM（出向）    | 本社の代弁<br>者をやめる | 70日目。ここまでは伝書鳩だった。この回で初めて、自分の言葉で立つ。      |
| Sarah Miller    | サラ・ミラー          | 42 | 新規事業開発部 部長           | あえて助けない        | Wall Street出身。この回では意図的に手を出さず、健司にやらせる。   |
| Mark Stevens    | マーク・ステ<br>ィーブンス | 38 | シニア・プロダク<br>トマーケター   | 呆れて見て<br>いる    | 生粋のNY育ち。チームが割れるのを何度も見てきたので、驚きはしない。      |
| Elena Rodriguez | エレナ・ロド<br>リゲス   | 29 | リード・プロダク<br>トデザイナー   | 席を立つ           | ヒスパニック系アメリカ人。2週間の仕事が3度目の白紙になり、限界を超えた。   |
| David Chen      | デビッド・チ<br>ェン    | 38 | ファイナンス・リ<br>ード       | 中立を保つ          | アジア系アメリカ人2世。感情の場面では発言せず、残り日数だけを数えている。   |
| Priya Sharma    | プリヤ・シャ<br>ルマ    | 30 | カスタマーサクセ<br>ス・マネージャー | 今回は教えない        | インド出身・在米6年。この回では型を教えない。健司が自分で言うべき場面だから。 |
| Richard Hale    | リチャード・<br>ヘイル   | 56 | COO（最高執行責任者）         | 90日後に判断する人     | Go/No-Goの決定権を持つ。20日後、この人の前に立つ。          |

## 3 今回のミッション

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 達成条件 | 席を立ったエレナを、最終プレゼンまでの20日に呼び戻す  |
| 結果   | 成功（2週間・2画面目のみで合意。代わりに2機能を中止） |

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 起きたこと | 日本本社から3度目の仕様変更。エレナの9日間が白紙に |
| 健司の立場 | エレナの上司ではない。命令する権限はゼロ       |

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 本当の原因 | 1月と3月、エレナが正しかったのに健司は本社の側に立った |
| 今回の型  | リーダーとして人を動かす（Leading）6フレーズ   |

## 4 シーンの流れ

| 発言    | 日      | シーン        | English                     | 場所・時刻             |
|-------|--------|------------|-----------------------------|-------------------|
| 1-14  | DAY 70 | 3度目の白紙     | The Third Rewrite           | 会議室 34-B 9:15 AM  |
| 15-29 | DAY 70 | 権限が無い      | No Authority Left           | 34階 廊下 9:40 AM    |
| 30-48 | DAY 70 | やらないことを決める | Decide What We're Not Doing | 非常階段の踊り場 10:05 AM |

## 5 スクリプト（英日対訳・チップ付き）

**チップの色** **KEY** 覚えて使う表現 **NG** 文法は正しいが機能しない **SOFT** 遠回し。本音は別にある

**音読の手順** ①英文だけを見て声に出す ②和訳で意味を確認 ③KEY（金）だけを止まらずに言えるまで繰り返す

### 3度目の白紙 The Third Rewrite 会議室 34-B 9:15 AM

1 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Tokyo sent a revision overnight. Screen two goes back to the tabbed layout.

東京から夜のうちに修正が来ました。2画面目はタブ形式に戻します。

2 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

The tabbed layout. The one we removed in March. Because it tested worst.

タブ形式。3月に外したやつね。いちばん成績が悪かったから。

3 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Yes. Headquarters wants consistency with the Japanese product.

はい。本社は日本版との一貫性を求めています。

4 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

How many days did I spend on the current version?

今の版に、私は何日かけた？

5 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

...Nine.

……9日です。

6 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

Nine days. Plus six in March. Plus five in January. Third rewrite, same screen.

9日。3月に6日、1月に5日。同じ画面で3回目の作り直し。

7 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Please understand. This is a decision from headquarters.

ご理解ください。これは本社の決定です。

失敗①

**NG** This is a decision from headquarters. 責任を他所に置いた瞬間、リーダーではなく伝書鳩になる

8 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

I know it's from headquarters, Kenji. You are headquarters. That's the problem.

本社からなのは分かってる、健司。あなたが本社なの。それが問題なのよ。

9 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

失敗②

I am only the messenger in this case.

この件では、私は伝えているだけです。

**NG** I am only the messenger. 自分を安全な場所に置いた。ここでチームは彼を見放す

10 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

Then I don't need to talk to a messenger.

なら、伝書鳩と話す必要は無いわ。

11 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

決裂

I'm done. Give screen two to someone else.

もう無理。2画面目は誰か別のの人に。

**KEY** I'm done. 感情ではなく決定の宣言。ここから先は説得ではなく交渉

12 **Mark Stevens** シニア・プロダクトマーケター

(after a pause) Well. That's the ballgame.

（間のあと）ま、終わったな。

13 **David Chen** ファイナンス・リード

Twenty days to the review. Without a designer, there is no demo.

レビューまで20日。デザイナーがいなければ、デモは無い。

14 **Sarah Miller** 新規事業開発部 部長

遠回し

Kenji. I'm not going to fix this one.

健司。今回は私が収めるつもりはないわ。

**SOFT** I'm not going to fix this one. 見放したのではなく、渡した。ここからは健司の仕事

**権限が無い** No Authority Left 34階 廊下 9:40 AM

15 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Sarah. Can you talk to her? She reports to you, not to me.

サラ。彼女と話していただけませんか。彼女の上司はあなたで、私ではありません。

16 **Sarah Miller** 新規事業開発部 部長

I could order her back to the desk. She'd sit there and give you nothing for twenty days.

席に戻れと命令はできる。彼女は座って、20日間あなたに何も出さない。

17 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Then what authority do I have?

では私にはどんな権限があるんですか。

18 **Sarah Miller** 新規事業開発部 部長

None. That's the job. Authority works when there's slack. There is no slack.

何も無い。それがこの仕事。権限が効くのは余裕があるときだけ。今、余裕はゼロよ。

**KEY** Authority works when there's slack. 余裕が無い局面では、肩書きは何も動かさない

19 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

Do you want the phrase for this?

この場面の型、要る？

20 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Yes. Please.

はい。お願いします。

21 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

核心

No. Not this time. There's no phrase that survives if the content is wrong.

だめ。今回は無し。中身が間違っていたら、生き延びる型なんて無いの。

**KEY** There's no phrase that survives if the content is wrong. 型は中身を運ぶ器。中身が無いときは何も運べない

22 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

Answer one question first. Was she right about the tabbed layout?

先に一つ答えて。タブ形式の件、彼女は正しかった？

23 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

...Yes. She was right in January and she was right in March.

……はい。1月も正しかったし、3月も正しかった。

24 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

And did you tell Tokyo that, in January or in March?

それを東京に伝えた？ 1月か3月に。

25 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

（伝えていない。二度とも、健司は本社の側に立っていた）

**NG (no)** エレナが怒っているのは仕様変更ではない。二度、守られなかったこと

26 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

Then go say that. Not a phrase. That.

じゃあ、それを言いに行つて。型じゃなく。それを。

27 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

If I admit that, I lose the authority I have left.

それを認めたら、残っている権限も失います。

28 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

You have none left. That's what makes it safe to say.

もう残ってないわ。だから言っても安全なの。

**KEY** You have none left. 失うものが無いときだけ、本当のことが言える

29 **Priya Sharma** カスタマーサクセス・マネージャー

She's in the stairwell. She always goes to the stairwell.

彼女、非常階段にいる。いつもそこに行くから。

**やらないことを決める** Decide What We're Not Doing 非常階段の踊り場 10:05 AM

30 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

本日の型

Elena. You were right, and I didn't listen.

エレナ。あなたが正しかった。そして私は聞かなかった。

**KEY** You were right, and I didn't listen. 謝罪の最上位形。事実の承認と、自分の不作為の名指し

31 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

(pause) Say the second part again.

（間）後半、もう一回言って。

32 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

I didn't listen. In January you said the tabs would test badly. I sent Tokyo's version anyway. In March, the same.

聞きませんでした。1月、あなたはタブは成績が悪くなると言った。私はそれでも東京の版を送った。3月も同じです。

33 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

Twice. And both times you told me it was headquarters.

2回。しかも2回とも、本社の決定だって私に言った。

34 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

I hid behind it. It was easier than telling Tokyo they were wrong.

それに隠れていました。東京に間違っていると伝えるより楽だったので。

35 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

...Okay. Keep going.

……そう。続けて。

36 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

I know I'm asking a lot. Here's why it matters. In twenty days, that screen is the demo. Not the deck. The screen.

大きなお願いをしているのは分かっています。それでも重要な理由があります。20日後、あの画面がデモそのものになります。資料ではなく、画面が。

**KEY** I know I'm asking a lot. Here's why it matters. 負担を先に認めてから、意義を語る。順番が逆だと押し付けになる

37 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

And Tokyo? In twenty-one days they send revision four.

それで東京は？ 21日後に4回目の修正を送ってくる。

38 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

I'm not asking you to compromise the design. I'm asking for two weeks. I'll take the revision fight with Tokyo myself.

デザインを妥協してくれと言っているのではありません。2週間ください、と言っています。東京との修正の話は、私が引き受けます。

**KEY** I'm not asking you to compromise X. I'm asking for Y. 要求の範囲を狭めて示す。相手が守るべきものを先に守る

39 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

You'll tell headquarters no. In writing. With your name on it.

本社にノーと言うのね。書面で。あなたの名前で。

40 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

With my name on it. I sent it at nine-fifty. You're copied.

私の名前で。9時50分に送りました。あなたもCCに入っています。

41 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

(checking phone) ...You already sent it. Before you came down here.

（携帯を見て）……もう送ってる。ここに来る前に。

42 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

What do you need from me to make this work?

これを成立させるために、私に何をしてほしいですか。

**KEY** What do you need from me to make this work? 支援を申し出る形のリーダーシップ。指示ではなく注文を取る

43 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

Kill the onboarding tour. And the help widget. I can't do three things in twenty days.

オンボーディングツアーを消して。ヘルプのウィジェットも。20日で3つは無理。

44 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Then let's decide together what we're not doing. Both are cut. I'll tell Mark and David it came from us, not from you.

では、やらないことを一緒に決めましょう。どちらも中止です。マークとデビッドには、我々の決定だと伝えます。あなたの決定ではなく。

**KEY** Let's decide together what we're not doing. やらないことを決めるのが、実務のリーダーの仕事

45 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

...Two weeks. Screen two only.

……2週間。2画面目だけよ。

46 **Kenji Sato** 新規事業開発部 PM（出向）

Two weeks, screen two only. And if this works, it's your win. I'll say your name in that room.

2週間、2画面目だけ。そして成功したら、それはあなたの成果です。あの部屋であなたの名前を言います。

**KEY** If this works, it's your win. 手柄の帰属を先に渡す。人が動くのは、最後にここが効く

47 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

Don't say my name. Say the number. If the number's good, everyone will find me.

名前は言わなくていい。数字を言って。数字が良ければ、みんな勝手に私を見つける。

48 **Elena Rodriguez** リード・プロダクトデザイナー

Kenji. Nine weeks ago you would have sent me an email about this. Twenty days.

健司。9週間前のあなたなら、この話をメールで送ってきた。20日ね。

## 6 健司の英語は、どこが機能しなかったか

正しいのに、人が動かない

**L7 Please understand. This is a decision from headquarters.**

NG 1

事実だが、責任を他所に置いている。この一言で健司は決定に関与していない人になり、同時に交渉する価値も無い人になる。理解を求める側に回った時点で、リーダーではない。

**L9 I am only the messenger in this case.**

NG 2

自分を安全な場所に置いた。エレナの Then I don't need to talk to a messenger. がそのまま答えて、伝えるだけの人とは交渉が成立しない。守ってくれない相手のために、人は自分の時間を差し出さない。

**L25 ( no )**

NG 3

1月も3月も、エレナが正しかったのに東京へ伝えていない。エレナが怒っているのは3度目の仕様変更ではなく、二度とも守られなかったという事実のほう。ここを見誤ると、どんな言い方をしても届かない。

**結論** 二つとも、事実としては正しい。ですがどちらも、自分を安全な場所に置いています。  
リーダーの言葉かどうかは、責任がどこにあるかで決まる。

## 7 キーフレーズ ✕ → ○ (6)

左が健司の英語、右が実際に使われる形です。左は文法的に間違っていない。長さ・順番・立ち位置だけが違います。まず左を読んで、どこが引っかかるかを自分で言葉にしてから右を読むと定着が速くなります。

1 直訳「あなたは正しかった。そして私は聞かなかった」

### You were right, and I didn't listen.

あなたが正しかった。そして私は聞かなかった。

✕ 文法は正しい。でも通らない

**Please understand. This is a decision from headquarters.**

ご理解ください。これは本社の決定です。

責任を他所に置いている。理解を求める側に回った時点で、リーダーではなくなる。

○ 実際に使われる形

### You were right, and I didn't listen.

あなたが正しかった。そして私は聞かなかった。

謝罪の最上位形。sorry を使わずに、相手の正しさと自分の不作為を同時に認める。後半が肝で、I didn't listen は「聞かなかった」という自分の行為の名指し。ここまで言うとも相手はもう戦う理由が無くなり、話が過去から未来へ動く。失うものが無いときにだけ言える言葉で、逆に言えば、追い詰められたときにしか使えない最強のカード。

**使う場面** 相手の信頼を失っていて、権限では動かせないとき。最初の一言として。

**言い換え** You called it, and I ignored it.

You told me twice. I didn't act.

That was your read, and it was correct.

**ドラマ内** L30 Kenji Sato : Elena. You were right, and I didn't listen.

2 直訳「私が多くを求めていると分かっています。これがそれが重要な理由です」

## I know I'm asking a lot. Here's why it matters.

大きなお願いをしているのは分かっています。それでも重要な理由があります。

× 文法は正しい。でも通らない

**This is important for the project, so please do it.**

プロジェクトにとって重要なので、やってください。

相手の負担に一言も触れていない。重要かどうかを決めるのはこちらだ、という態度になる。

○ 実際に使われる形

## I know I'm asking a lot. Here's why it matters.

大きなお願いをしているのは分かっています。それでも重要な理由があります。

負担を先に認めてから意義を語る型。順番が命で、逆にすると押し付けになる。I know I'm asking a lot は、相手が言おうとしていたことを先にこちらが言ってしまう技でもある。言われる前に認められると、人は反論の出発点を失う。そのあとの why は、会社の都合ではなく、その人の仕事がどこに効くかで語る。

使う場面 無理を承知で協力を求めるとき。

言い換え This is a big ask. Here's the reason.

I'm aware of what I'm asking for.

I don't have a fair trade to offer. Here's why I'm asking anyway.

ドラマ内 L36 Kenji Sato : I know I'm asking a lot. Here's why it matters. In twenty days, that screen is the demo. Not the deck. The screen.

3 直訳「デザインを妥協しろと言っているのではない。2週間を求めている」

## I'm not asking you to compromise the design. I'm asking for two weeks.

デザインを妥協してくれと言っているものではありません。2週間ください、と言っています。

× 文法は正しい。でも通らない

**Can you just do it this one time? It is only two weeks.**

今回だけやってもらえませんか。たった2週間です。

only や just で相手の負担を軽く見積もっている。当人にとって2週間は「たった」ではない。

○ 実際に使われる形

## I'm not asking you to compromise the design. I'm asking for two weeks.

デザインを妥協してくれと言っているものではありません。2週間ください、と言っています。

要求の範囲を狭めて示す型。前半で「あなたが守りたいものは要求していない」と宣言し、後半で本当に必要な一点だけを出す。相手が最も恐れているのは、譲ったら全部持っていかれることなので、そこを先に閉じてやると交渉が始まる。not A, but B の対比構造で、A には相手の価値観を、B にはこちらの最小要求を置く。

使う場面 相手が「全部を要求されている」と感じているとき。

言い換え I'm not asking you to lower the bar. I'm asking for time.

Your standards stay. The scope moves.

I don't want the compromise. I want the calendar.

ドラマ内 L38 Kenji Sato : I'm not asking you to compromise the design. I'm asking for two weeks. I'll take the revision fight with Tokyo myself.

4 直訳「これを機能させるために、あなたは私から何を必要としますか」

## What do you need from me to make this work?

これを成立させるために、私に何をしてほしいですか。

× 文法は正しい。でも通らない

**Please do your best. I will support you.**

がんばってください。私はサポートします。  
サポートの中身が空。何をしてくれるのか分からないので、相手は何も当てにできません。

○ 実際に使われる形

## What do you need from me to make this work?

これを成立させるために、私に何をしてほしいですか。

支援を申し出る形のリーダーシップ。指示を出すのではなく、注文を取る。from me が肝で、これが無いと「何が必要?」という一般論になる。自分が動く前提で聞いているから、相手は遠慮なく要求を出せる。そしてここに出てきた要求こそが、本当のボトルネックであることが多い。エレナが出したのは人員でも時間でもなく、二つの機能の中止だった。

使う場面 相手が渋々でも動く姿勢を見せた直後。

言い換え What would make this possible?

Tell me what to take off your plate.

What do you need me to go break for you?

ドラマ内 L42 Kenji Sato : What do you need from me to make this work?

5 直訳「我々が何をやらないかを、一緒に決めましょう」

## Let's decide together what we're not doing.

やらないことを、一緒に決めましょう。

× 文法は正しい。でも通らない

**Let's try to do everything if possible.**

できれば全部やる方向で考えましょう。  
優先順位を決める仕事を放棄している。結果、全部が中途半端になり、責任は現場に残る。

○ 実際に使われる形

## Let's decide together what we're not doing.

やらないことを、一緒に決めましょう。

実務のリーダーが本当にやるべき仕事を一言にした型。やることを決めるのは誰でもできるが、やらないことを決められるのは責任を取れる人だけ。together が効いていて、これで中止の決定が二人のものになり、あとから誰かに責められたときに現場が一人で立たされない。健司が「我々の決定だと伝える」と続けたのがその実行部分。

使う場面 リソースが足りず、優先順位を確定させる必要があるとき。

言い換え What are we cutting? Let's pick what dies.

I'd rather drop two things well than do four badly.

ドラマ内 L44 Kenji Sato : Then let's decide together what we're not doing. Both are cut. I'll tell Mark and David it came from us, not from you.

## If this works, it's your win.

これが成功したら、それはあなたの成果です。

× 文法は正しい。でも通らない

**If we succeed, it will be good for the team.**

成功すればチームにとって良いことです。

チーム、という主語では誰の得にもならない。実際に評価されるのは言い出した人だけ、と相手は知っている。

○ 実際に使われる形

**If this works, it's your win.**

これが成功したら、それはあなたの成果です。

手柄の帰属を、始める前に渡してしまう型。終わってから渡すのは当然のことで、価値は生まれない。始める前に渡すと、それは約束になる。your win と個人名指しにするのが肝。ここまでやって初めて、権限の無い相手に自分の時間を差し出してもらえる。ちなみにエレナはこれを断って「名前ではなく数字を言え」と返した。それも含めて、渡したことに意味がある。

**使う場面** 協力の合意ができた直後。その場を離れる前に。

**言い換え**

This is your name on it, not mine.

You get the credit. I'll take the risk.

If it lands, it's yours.

**ドラマ内** L46 Kenji Sato : Two weeks, screen two only. And if this works, it's your win. I'll say your name in that room.

## 8 遠回し表現の読み解き

英語の職場では、否定や警告ほど遠回しになります。字面のまま受け取ると、警告を褒め言葉として持ち帰ってしまいます。本当の意味の欄を隠して、当てられるか試してください。

| 発言 | 言われた言葉                                 | 誰が     | 本当の意味                    |
|----|----------------------------------------|--------|--------------------------|
| 14 | <b>I'm not going to fix this one.</b>  | サラ・ミラー | 見放したのではなく、渡した。ここからは健司の仕事 |
| —  | <b>That's the job.</b>                 | 上司     | つらいのは分かるが、それが仕事だ         |
| —  | <b>Do what you need to do.</b>         | 上司     | 任せる。ただし結果は問う             |
| —  | <b>I'd think carefully about that.</b> | 上司     | やめておけ                    |
| —  | <b>Let me know how it goes.</b>        | 上司     | 手は貸さないが、報告はしろ            |
| —  | <b>That's a you problem.</b>           | 同僚     | こちらは関与しない                |
| —  | <b>Keep going.</b>                     | 同僚     | 今の話し方は正しい。続ける            |
| —  | <b>Say the second part again.</b>      | 同僚     | そこが聞きたかった、という強い肯定        |
| —  | <b>You'll figure it out.</b>           | 上司     | 手は貸さない。ただし信頼はしている        |

## 9 音の変化

### 強く言う場所（stress） → どこを強く言うかで、意味が変わる

I'm not asking you to compromise the DESIGN. I'm asking for two WEEKS.

**I'm not asking you to compromise the design. I'm asking for two weeks.**

コンプロマイズ・ザ・デザイン / トゥー・ウィークス を強く

|                |                                          |
|----------------|------------------------------------------|
| 対比は強勢で作る       | not A but B の文では、AとBの中身の語だけを強く言う。それ以外は流す |
| 強勢が無いと意味が消える   | 全部同じ強さで読むと、何と何を対比しているのか相手に伝わらない          |
| 日本語話者は平坦になりやすい | 日本語は高低で意味を作るので、英語の強弱をつけないまま話してしまう        |

発音より、どこを強く言うか。リーダーの言葉はここで決まります。

今回は発音より強勢です。not A but B の形では、AとBの中身の語だけを強く言い、それ以外は流します。I'm not asking you to compromise the DESIGN. I'm asking for two WEEKS.強く言う2語に印を付けてから音読してください。

強勢は文の意味を変えます。I didn't say he stole it. はどの語を強く言うかで7通りの意味になります。中級から先で伸び悩む人の多くは、発音ではなくここでつまづいています。

## 10 文法・語法の解説ポイント

動画では触れていない、文法・語法の「なぜそうなるか」。右上のタグは文法カテゴリです。

### L2 The one we removed in March. Because it tested worst.

省略

断片文が2つ。The one (that) we removed で関係詞が省略され、Because 節も単独で置かれている。書き言葉では不完全だが、怒りや失望を表すときは英語でもこう切る。文を短く切ること自体が感情表現。

**関連** 断片文 / 関係詞の省略

### L2 it tested worst

自動詞

test が自動詞で「(テストの結果) ~という成績になる」。The design tested well. (この設計は成績が良かった) のように使う。受動態にしないのがポイントで、was tested badly とは言わない。

**関連** test の自動詞用法 / 評価を表す動詞

### L9 I am only the messenger in this case.

副詞の位置

only が the messenger にかかって「伝えるだけの人」。文法的には正しいが、この文は自分を意思決定から切り離す宣言になる。英語の職場で messenger を自称すると、交渉相手として扱われなくなる。

**関連** only の作用域 / 立場の宣言

### L16 She'd sit there and give you nothing for twenty days.

仮定法

would ('d) は仮定法。「(もし命令したら) ~するだろう」で、if 節は省略されている。命令できるが結果は最悪だ、という予測を条件節なしで言い切る形。会議でよく出る省略の仮定法。

**関連** would + 原形 / if 節の省略

### L18 Authority works when there's slack. There is no slack.

反復

同じ語 slack を2文で繰り返して条件と現実を並べる。1文目で原則を述べ、2文目で「今はその条件が無い」と落とす。英語の説得はこの2段組みが多い。

**関連** 原則→現実の2段構え

### L30 You were right, and I didn't listen.

時制

過去形2つを and で並べただけの文。sorry を使わずに謝罪として機能する。前半で相手の正しさを、後半で自分の不作為を認める。I'm sorry I didn't listen. より強いのは、謝罪ではなく事実の承認だから。

**関連** 過去形の並列 / 事実による謝罪

### L38 I'm not asking you to compromise the design. I'm asking for two weeks.

強勢

not A but B の but を省いて2文に分けた形。強く読むのは design と weeks の2語だけで、それ以外は流す。日本語は高低で意味を作る言語なので、この強弱を付けないと何と何を対比しているのかが相手に伝わらない。

**関連** 対比の強勢 / not A, B

## 11 多義語のワナ

よく知られている意味のまま読むと、意味が変わったり通じなくなる語です。

| 語                  | よく知る意味 | この回での意味                           | 例                                              |
|--------------------|--------|-----------------------------------|------------------------------------------------|
| <b>done</b>        | 終わった   | もう関わらない（決別の宣言）                    | I'm done. Give screen two to someone else.     |
| <b>ballgame</b>    | 野球の試合  | 勝負・状況（That's the ballgame = 終わりだ） | Well. That's the ballgame.                     |
| <b>slack</b>       | たるみ    | 余裕・ゆとり                            | Authority works when there's slack.            |
| <b>messenger</b>   | 使者     | 伝えるだけの人（責任を持たない人）                 | I am only the messenger in this case.          |
| <b>hide behind</b> | 後ろに隠れる | （権威などを）盾にする                       | I hid behind it.                               |
| <b>kill</b>        | 殺す     | 中止する                              | Kill the onboarding tour. And the help widget. |
| <b>win</b>         | 勝利     | 成果・手柄                             | If this works, it's your win.                  |
| <b>compromise</b>  | 妥協する   | （品質を）落とす                          | I'm not asking you to compromise the design.   |

**A. 空所補充** 日本語を見て英文を完成させる

- あなたが正しかった。そして私は聞かなかった。  
You \_\_\_\_\_, and I \_\_\_\_\_.
- 大きなお願いをしているのは分かっています。それでも重要な理由があります。  
I know I'm \_\_\_\_\_. Here's \_\_\_\_\_ it matters.
- デザインを妥協しろとは言っていません。2週間ください、と言っています。  
I'm not asking you to \_\_\_\_\_ the design. I'm \_\_\_\_\_ two weeks.
- これを成立させるために、私に何をしてほしいですか？  
What do you \_\_\_\_\_ to make this work?
- やらないことを、一緒に決めましょう。  
Let's decide \_\_\_\_\_ what we're \_\_\_\_\_.
- これが成功したら、それはあなたの成果です。  
If this works, it's \_\_\_\_\_.

**B. どちらが通るか** 同じ内容を、会議で機能する形に

- 部下ではない相手の信頼を失っている。過去に相手の指摘を無視した。  
(A) Please understand. This is a decision from headquarters. (B) You were right, and I didn't listen.
- 相手が「全部を要求されている」と身構えている。  
(A) Can you just do it this one time? It is only two weeks. (B) I'm not asking you to compromise the design. I'm asking for two weeks.
- 相手が渋々でも動く姿勢を見せた。次の一言。  
(A) Please do your best. I will support you. (B) What do you need from me to make this work?
- リソースが足りない。優先順位を確定させたい。  
(A) Let's try to do everything if possible. (B) Let's decide together what we're not doing.
- 上司に "I'm not going to fix this one." と言われた。これは？  
(A) 見放された (B) あなたに渡された。ここからは自分の仕事

**C. 和文英訳** 「型」の再現

- あなたが正しかった。そして私は聞かなかった。  
ヒント: sorry を使わない。前半＝相手の正しさ、後半＝自分の不作為
- 大きなお願いをしているのは分かっています。それでも重要な理由があります。  
ヒント: 負担を先に認めてから意義を語る
- デザインを妥協してくれとは言っていません。2週間ください、と言っています。  
ヒント: design と weeks を強く言う

4. やらないことを一緒に決めましょう。どちらも中止です。

ヒント: together で決定を共有する

---

#### **D. ロールプレイ** 3秒で口に出す

1. 部下ではない相手の信頼を失っている。過去に彼女の指摘を無視した。最初の一言。

---

2. 相手は「全部を要求されている」と感じて身構えている。要求を狭めたい。

---

3. 相手が動く姿勢を見せた。こちらが何をすべきか、注文を取りたい。

---

## A. 空所補充

1. were right / didn't listen
2. asking a lot / why
3. compromise / asking for
4. need from me
5. together / not doing
6. your win

## B. どちらが通るか

1. (B) **You were right, and I didn't listen.** — 責任を他所に置くとリーダーではなくなる。sorry を使わずに、相手の正しさと自分の不作為を同時に認める。ここまで言うとは相手は戦う理由が無くなる。
2. (B) **I'm not asking you to compromise the design. I'm asking for two weeks.** — only や just は相手の負担を軽く見積もる語。not A but B で、相手が守りたいものを先に閉じてやると交渉が始まる。
3. (B) **What do you need from me to make this work?** — サポートの中身が空だと相手は何も当てにできない。from me を入れて、自分が動く前提で注文を取る。
4. (B) **Let's decide together what we're not doing.** — やることを決めるのは誰でもできる。やらないことを決められるのは責任を取れる人だけ。together で決定を二人のものにする。
5. (B) **あなたに渡された。ここからは自分の仕事** — 手を出さないことで責任を移している。実際サラはこのあと一度も介入していない。

## C. 和文英訳（モデル解答）

1. You were right, and I didn't listen.
2. I know I'm asking a lot. Here's why it matters.
3. I'm not asking you to compromise the design. I'm asking for two weeks.
4. Let's decide together what we're not doing. Both are cut.

## D. ロールプレイ（モデル解答）

1. You were right, and I didn't listen.  
あなたが正しかった。そして私は聞かなかった。（型 1: You were right, and I didn't listen.）
2. I'm not asking you to compromise the design. I'm asking for two weeks.  
デザインを妥協しろとは言っていない。2週間ください、と言っています。（型 3: I'm not asking you to compromise the design. I'm asking for two weeks.）
3. What do you need from me to make this work?  
これを成立させるために、私に何をしてほしいですか。（型 4: What do you need from me to make this work?）

Cは表現が一致していなくても、型（語順と要素の順番）が同じなら正解です。Dは3秒で言えたかどうかだけを見てください。内容の正しさは問いません。



SIN英語

youtube.com/@sin\_ai\_eigo

## 動画で見る

本冊は動画の内容に対応しています。音声と合わせて使うと定着が速くなります。この回の本編は、チャンネルの再生リストから選んでください。



チャンネル  
CROSSROADS 全10話  
youtube.com/@sin\_ai\_eigo

## CROSSROADS 全10話

01 着任初日の洗礼 割り込み

02 すれ違う意思決定 曖昧の解消

03 氷上のチームビルディング 雑談

04 紛糾するアイデア出し 反対する

05 キーマンへの根回し 1on1の説得

06 予期せぬ予算削減 タフな交渉

07 信頼を揺るがすミス 謝罪と代替案

08 チームの反乱と結束 リーダーシップ

09 リハーサルでの酷評 フィードバック

10 運命の最終プレゼン プレゼンとQ&A

日本の中堅IT企業から、ニューヨーク本社へ出向した佐藤健司の90日間を追うシリーズです。英語音声＋日英字幕。1話につきキーフレーズ6本、全10話で60本。音声は合成音声を使用しています。登場人物・会社名・製品名・数値はすべて架空のものです。